

令和元年度 各地域包括支援センターの事業報告

令和元年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 介護予防 ケアマネジメント業務	総合事業を利用し、状態が改善するケースを増やすことが課題である。
② 包括的・継続的 ケアマネジメント支援業務	見守り対象者の見守りを強化し、状態の悪化を予防し、入院してしまう方を減らしていくことが課題である。
③ 認知症総合支援事業	認知症についての講座等を開催し、普及啓発活動を行っていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	高齢者の自立や意欲を引き出す	計画	—
		報告	—
②	夏季の熱中症予防を中心に見守りを強化する	計画	訪問300戸(延べ)
		報告	訪問375戸(延べ)
③	地域での認知症についての普及啓発の実施	計画	2回 30人(延べ)
		報告	7回 60人(延べ)

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○		7.2	○	○	1	常	40	○				○	○		8.2	○	○	
2	常	40	○			○	○		1	○	○	2	常	40	○			○	○	○		2	○	○	
3	常	40	○				○		3	○	○	3	常	40	○				○	○		4	○	○	
4	常	40		○	○	○			1	○	○	4	常	40		○	○	○				2	○	○	
5	常	40	○			○	○	○	11	○	○	5	常	40	○			○	○	○		12	○	○	
6	常	40	○						0	○	○	6	常	40		○	○					3.3	○	○	
7	非	32				○	○		1		○	7	非	32				○	○			2		○	
8												8	非	28					○		○	0.9		○	
9												9													
10												10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・柔道整復師

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 7,642人 (平成31年1月1日時点) あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画 個別課題の解決にとどまらず、地域課題を抽出する会議であることを意識して取り組む。計画回数にとどまらず必要に応じて開催していく。	2回					①						②	
主催	報告 ・障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行により、サービス変更を余儀なくされる方への支援 ・問題意識のない利用者への支援	2回	①					①					②	
見守りネットワーク地区連絡会	計画 見守りネットワークの協力機関、協力事業所、相談協力員等の参加で、情報共有をし、顔の見える関係を構築する。事例検討では参加者の意見を聞き、地域課題の抽出を行う。	2回 60人		①						②				
主催	報告 ・地域包括支援センターの実績・活動報告 ・関係機関からの報告・情報交換 ・東京都消費生活総合センター出前講座 ・認知症の高齢者の見守りについてのグループワーク	2回 84人			①					②				
街づくり懇談会	計画 街づくりを意識し、住民及び関連諸機関を対象に、地域の実情を知り、共通の課題等について意見交換や協議をする懇談会を開催する。	2回 100人						①					②	
共催	報告 住民や関係機関と地域の共通課題の共有及び意見交換を実施。ネットワークづくりと強化の機会とした。台東ボランティア・地域活動サポートセンターによる実践報告。2月の開催は新型コロナウイルスの影響により中止。	1回 61人						①						
介護予防・自立支援に向けた地域ケア個別会議	計画 高齢者本人が多職種と一緒に、これからの自分らしい生活を考える機会とする。	2回		①								②		
参加	報告 高齢者本人が多職種と一緒にこれからの自分らしい生活を考える機会を持ち、3か月後・6か月後にモニタリングを実施。	2件	①	②						①			②	

＜ケアマネジャー支援＞

エリア内の居宅介護支援事業所数： 10 介護支援専門員数 32名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	計画 事例検討会・情報交換会・勉強会等を実施し、地域のケアマネジャーの資質向上を図る(年2回は7包括合同で開催)。	4回				①							②		②
主催・共催	報告 7包括合同のケアマネの集いでは医療と介護の連携、ショートステイの相談員との交流会を開催した。あさくさ包括単独で、居宅介護支援事業所と協働した事例について等4度の事例検討会を開催した。	6回			①			②	③				④		
	計画														
	報告														

＜認知症地域支援推進事業＞

あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ(喫茶YOU)	計画 認知症の方、その介護者が、リラックスして地域の人々と専門家と交流できる場、また認知症についての普及啓発の場として、台東病院・みのわ地域包括支援センターと連携して開催する。	12回 240人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
共催	報告 認知症についての相談、普及啓発の場として、認知症家族の方や、本人、地域の方々が気軽に語り合い、交流が出来る場を提供。台東病院、みのわ地域包括支援センターと連携して開催した。医師や薬剤師も見学参加した。	11回 474人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		
認知症サポーター養成講座	計画 ニーズがあると思われる地域の団体・企業・医療機関・グループ等に講座開催の働きかけを行い、開催していく。開催に至らない場合も、情報発信、啓発、連携強化等を目指す。	2回 30人			①									②	
主催・共催	報告 ・社会福祉事業団 26人 ・みずほ銀行千束町支店 20人 ・地域住民向け 17人 ・毎年、年度末に地域の薬局と共催していたが、新型コロナウイルスの影響で中止。	3回 63人		①								②	③		
認知症初期集中支援推進事業	計画 構成メンバーとして、対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、適切な支援につなげる。	1ケース 以上						①							
実施	報告 認知症の臨床診断を受けていない方に対し初期集中支援の対象者選定のケース報告を行い、2事例訪問を行い、その後の支援の検討を行い、1事例は医療に結び付いた。	2ケース								①				②	
介護者サロン(ほのぼのの集い)	計画 介護をされている方や経験者が交流を持ち、体験や思いを分かち合い、相互の支え合いを支援するためのサロンとして、毎月第二土曜日に開催する。	12回 100人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
共催	報告 毎月第2土曜日に開催。介護者の家族が集まって、互いの出来事や悩みを共有し合うための手助けを行い、介護に対する知識の向上や理解を深めていった。10月は台風、3月は新型コロナウイルスの影響で中止。	10回 75人	①	②	③	④	⑤	⑥			⑦	⑧	⑨	⑩	
認知症の普及・啓発活動	計画 ボランティアフェスティバルにて認知症カフェや認知症サポーター養成講座に関する普及啓発、地域包括支援センターのPRの実施。	1回		①											
参加	報告 ボランティアフェスティバルにて認知症ケアバスの紹介や認知症カフェ・認知症サポーター養成講座の案内等を行なった。	1回 17人	①												

＜計画外の取組＞

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	報告														
	報告														

令和元年度 [やなか] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 地域ケア会議推進業務	多職種で、個別課題や地域課題を検討する機会を増やしていくことが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	夏季・冬季に体調が悪化する高齢者が増加する傾向があるため、重症化を防止することが課題である。
③ 権利擁護事業	悪質商法、詐欺の被害に遭う高齢者を減らしていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域ケア会議の内容の充実	計画	6回
		報告	7回
②	民生委員との連携強化	計画	年2回
		報告	年2回
③	悪質商法・詐欺の予防の啓発と安心して暮らせるまちづくり	計画	4回
		報告	4回

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	30年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2			
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他	
1	常	40				○	○				12	○	○	1	常	40				○	○				13	○	○	
2	常	40					○	○			1	○	○	2	常	40					○	○				2	○	○
3	常	40	○						○		4	○	○	3	常	40	○						○			5	○	○
4	常	40		○	○				○		3	○	○	4	常	40		○	○			○	○			4	○	○
5	非	32							○		2	○	○	5	非	32						○	○			3	○	○
6														6														
7														7														
8														8														
9														9														
10														10														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 4,142人 (平成31年1月1日時点)

やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	「地域ケア個別会議」「見守りネットワーク地区連絡会における事例検討」・「介護予防・自立支援に向けた地域ケア個別会議」の実施。(個別3回・見守り地区連絡会事例検討方式1回・自立支援型2回)	3回	個別準備・開催	①		②							③			
主催	個別会議では、天家からの相談による認知症や体調不良の独居高齢者への支援について、地域からの相談による徘徊や金銭管理が心配な方への支援について検討した。自立支援に向けた会議では、本人参加型で多職種からの助言を受け、生活課題や目標について検討し、定期的にモニタリングを行った。(個別5回・見守り地区連絡会事例検討方式1回・自立支援型1回)	5回	個別モニタリング・評価	①	②	③	④	⑤		①	②	③	④	⑤		③
見守りネットワーク地区連絡会	関係機関との情報交換方式で1回、11月は事例検討やグループワーク方式で、地域課題に関する意見交換方式で開催予定。	2回	準備・開催	①						②						
主催	4月に関係機関との情報交換方式で開催、11月に谷中地区で大雨による避難勧告が出されたことを受け、緊急避難発令時の対応について事例検討・グループワークを行った。	2回	準備・開催	①						②						
広報誌の発行ホームページの活用	広報誌を毎月発行し、熱中症やインフルエンザ、詐欺に関する情報等各月のテーマに応じて啓発し、回覧等で配布。ホームページを活用し、情報発信を行う。	12回	広報紙の発行・配付	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
主催	熱中症やインフルエンザの啓発など季節に合わせた注意喚起、認知症カフェ、ふれあい介護予防教室の周知、また地域で発生した消費者被害等の情報を警察やくらしの相談課と共有して掲載した。	12回	広報紙の発行・配付	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
地域交流	夏祭り・菊祭りの参加により、地域住民との交流の機会を作る。	2回					夏祭り			菊祭り						
参加	夏祭り・菊祭りの参加により、地域住民や地域の高齢者と祭の場を通じて交流を行った。	2回					夏祭り			菊祭り						

<ケアマネジャー支援>

エリア内の居宅介護支援事業所数： 3

介護支援専門員数 8名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	・7包括共催テーマで2回(7月・1月) ・やなか包括主催で事例検討会2回、講義形式で2回開催予定。	6回	共催	①									②			
主催・共催	・7包括共催では医療相談員、退院調整NS、短期入所相談員とケアマネジャーの交流会を開催した。 ・単独開催では、「依存症高齢者の支援について」の勉強会、「高次脳機能障害の高齢者の支援について」の事例検討会を開催した。	4回 191名	主催	①	②	③	④									
			共催	①						②						
			主催	③						④						

<認知症地域支援推進事業>

やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(カフェやなか)	土田病院(精神科)と協働し、認知症の方ご本人の居場所、そのご家族の介護負担軽減、地域住民が認知症について正しい知識を得られる場として、地域に根差したカフェを開催する。	6回 120人	①	②	③	④	⑤	⑥								
共催	土田病院と共催で、本人・家族・地域住民・医療福祉関係者それぞれが、有意義な時間を過ごせるよう参加者からの意見を積極的に取り入れ、服薬や権利擁護に関する講座、アクティビティや演奏会などのプログラムを実施した。	6回 141人	①	②	③	④	⑤	⑥								
認知症サポーター養成講座等の普及啓発活動	町会や老人クラブ、企業等へ、認知症サポーター養成講座をはじめとする認知症に関する講座開催の働きかけを行い、依頼については随時調整して開催する。	4回														
主催・共催	金融機関職員や学生を対象に講座を実施。また担当地域にある更生施設の職員と共同で、更生施設入所者・職員に向けた講座を開催した。	6回	①	②	③	④	⑤	⑥								
認知症初期集中支援推進事業	対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、各機関と連携しながらスムーズに適切な支援に繋げる。	1ケース以上						①								
実施	医療・介護サービスに結び付けることが困難であった対象者をチームで連携し支援に繋げることが出来た。	1ケース						①								
認知症高齢者早期発見・実態把握	池之端地区の高層マンションなど、セキュリティが厳しい住宅の管理人や管理業者へ働きかけを行い、実態把握・早期対応を行う。	適宜														
主催	特に高層マンションの多い池之端地区の老人会や民生委員へ働きかけ、定期的に情報を共有し、実態把握を行った。またマンションの管理人や銀行、郵便局に向けて包括支援センターや推進員の役割について周知活動を行った。	適宜														

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
つながり会議	荷物やゴミの溜め込みにより、地域住民が苦慮している事例について社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携し課題の共有を行った。	5回				①	②	③	④	⑤						

令和元年度 [みのわ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	複数の課題を抱える世帯への支援や、多職種との連携を強化することが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	高齢者の見守りのため、民生委員や関係機関との地域課題を共有し、地域課題に対する取り組みを行うことが課題である。
③ 総合相談支援業務	高齢者の実態把握と早期対応が課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	計画	数値	目標に向けた具体的な取組
①	多問題の相談支援の充実	計画	-	①センター内の情報共有とセンターの方針決定を行う。 ②多職種連携を行い、本人と家族への支援を行う。
		報告	新規271人	毎朝のミーティングで情報共有を行い、ケースの対応方法や支援内容を検討した。経済的困窮・精神疾患・認知症等、家族も課題を抱えているケースについて、医療関係者や警察等の他機関と連携し支援を行った。
②	高齢者が安心して生活できるネットワークを作る	計画	-	民生委員・地域の関係機関と地域ごとにチームを作り、地域課題の共有と取り組みを行う。
		報告	108人	見守りネットワーク地区連絡会にて、大型台風発生時の水害について情報を共有し、地域ごとに民生委員やケアマネージャー等の他機関がチームになり、地域の課題を確認した。
③	相談に繋がっていないケースの把握と早期対応を行う	計画	-	80歳以上独居高齢者世帯の実態把握と熱中症予防注意喚起活動を行い、支援が必要な方へ適切な支援を行う。
		報告	200人	全地域の80歳以上の独居高齢者世帯を個別訪問し、地域包括支援センターの普及啓発と熱中症予防注意喚起や実態把握に努めた。その結果、病院受診や介護保険の申請等、必要な支援に繋げることができた。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2					
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他			
1	常	40	○			○	○			○	○	7	○	○	1	常	40	○				○	○			○	○	8	○	○
2	常	40	○			○	○			○	○	6	○	○	2	常	40	○				○	○			○	○	7	○	○
3	常	40			○							2	○	○	3	常	40									○	○	1	○	○
4	常	40	○									2	○	○	4	常	40				○							3	○	○
5	非	32				○						1	○	○	5	常	40	○										3	○	○
6	非	32	○										○	○	6	非	32									○		2	○	○
7	非	24			○							9	○	○	7	非	32	○										1	○	○
8	非	19					○			○		1		○	8	非	24				○							10	○	○
9															9	非	19								○		○	2		○
10															10															

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 6,665人 (平成31年1月1日時点)

みのわ 地域包括支援センター

みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
地域ケア個別会議	計画 本人が地域で生活できるようなネットワークづくりを目指す。会議を通して地域課題を抽出する。	2回		←	→	①						←	→	②			
主催	報告 ①地域住民のトラブルに巻き込まれている認知症夫婦への支援 ②③物盗られ妄想等のある独居高齢者への支援 ④負債により訴訟を起こされている独居高齢者への支援	4回		①	②		①	②				③	④				③
介護予防・自立支援に向けた地域ケア個別会議	計画 本人が参加し、専門職の助言を受け、本人の取り組みによって自立を目指す。	2回							①	②							
主催	報告 自立支援に向けて本人が意欲的に会議に参加し、多職種から適切な助言を受けることで本人の自発的な取り組みに繋げることができた。	2回						①	②								
見守りネットワーク地区連絡会	計画 6月：顔合わせ、関係機関からの情報提供、地域課題の解決に向け経過報告 11月：地域課題への取り組み発表	2回			①						②						
主催	報告 ①「つながり会議」を通して包括が取り組んだ大型マンションのつながり・通いの場の立ち上げについて紹介した。 ②水害時の対応についてハザードマップを共有し、各地域ごとに検討を行ない、地域の課題を共有した。	2回 108人				①								②			
広報誌の発行	計画 5月：職員紹介、各事業案内 10月：各事業案内 2月：年間報告	3回		①					②							③	
主催	報告 民生委員・医療機関・郵便局・薬局・スーパー・コンビニ・銭湯等に配布し、地域包括支援センター相談窓口や、介護予防・認知症・成年後見制度・消費者被害防止・虐待予防について普及啓発を行った。	3回			①		②									③	

<ケアマネジャー支援>

エリア内の居宅介護支援事業所数： 10

介護支援専門員数 31名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ケアマネジャーの集い	計画 みのわ包括主催： 5月：情報提供 9月：事例検討会 2月：事例検討会 7包括合同主催： 7月、1月	5回		①				②						③			
主催・共催	報告 みのわ包括主催： 4月10月1月と年3回、地域のケアマネジャーが抱えている困難事例の事例検討会を実施した。 7包括合同開催： 7月：ケアマネジャー73人、医療相談員27名 1月：ケアマネジャー48人、ショート相談員12名	5回 みのわ包括主催計28名	①					②						③			
	計画																
	報告																

<認知症地域支援推進事業>

みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
認知症カフェ (喫茶YOU)	計画 認知症の方、その介護者が、リラックスして地域の人々や専門家と交流できる場、また認知症についての普及啓発の場として、台東病院・あさくさ地域包括支援センターと連携して開催する。	12回 240人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫			
共催	報告 認知症に関する情報提供や認知症予防体操の他、回想法や音楽療法等、様々なプログラムを取り入れて実施した。また児童館の子供の参加により他世代での交流や、参加者同士で情報交換できる場を提供した。	11回 474人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪				
認知症サポーター養成講座	計画 学校や事業所、町会や老人会等地域の団体からご依頼があれば、適宜実施していく。	4回			①		②		③		④						
主催・共催	報告 日本歯科大学学生・みずほ銀行・簡易宿泊所の管理人、地域住民等対象に、5回実施した。簡易宿泊所の管理人対象の講座については、ほうらい地域包括支援センターと合同で開催した。	5回 100人		①	②					③	④						
認知症の普及・啓発活動	計画 町会や老人会・自治体の集まりなどの中で、認知症の普及・啓発活動を行う。ご依頼のある活動だけでなく、地域住民に働きかけをして活動を行っていく。	4回	①			②				③				④			
主催・共催	報告 いきいき健康まつり・町会シニアクラブ等のイベントに向き、認知症予防講座を実施した。また南千住地域包括支援センターの認知症地域支援推進員と連携し、大型スーパー (イトーヨーカ堂) で認知症の普及啓発活動を実施した。	4回 114人 + α		①	②			③	④								
認知症初期集中支援推進事業	計画 認知症または認知症の疑いのある人に対して、訪問・支援を行い、認知症の早期診断・早期対応を強化して、適切な医療や介護サービスにつなげる。	1ケース以上							①								
実施	報告 受診に繋がっていないケース2件について事業の検討をしたが、医療機関に同行する等の方法で支援を実施した。チーム員として認知症の疑いのある方に対して訪問・支援を行い、認知症の早期発見と早期対応を行い、適切な医療とサービスに繋がった。	1ケース (相談2件)		①													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
介護予防に関する出前講座	報告 町会やシニアクラブから依頼を受けて、健康寿命・フレイル予防や見守りサポーターに関する講座を実施した。	3回 49名		①					②	③							
順天堂認知症疾患医療センターでの実践発表	報告 簡易宿泊所で刃物等の危険物を所持しており、適切な医療受診や服薬が困難な高齢者を順天堂アウトリーチチームと連携して解決に結びつけることができたケースについて、認知症地域支援推進員から関係機関へ実践発表を行なった。	1回											①				
通いの場普及啓発活動への参画	報告 ケーブルテレビの撮影に協力し、通いの場の普及啓発を行った。シニアのための体力測定会・通いの場説明会へスタッフとして参加し、普及啓発活動に参画した。また住民から地域のつながりづくりの相談を受け、生活支援コーディネーターと連携し、後方支援を行った。	6回		①		②	③	④	⑤					⑥			

令和元年度 [くらまえ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	地域との関りを持ちたがらない高齢者に対しての、見守り方法や実態把握が課題である。
② 認知症総合支援事業	認知症が悪化する前からの相談を増やし、問題が複雑化する前からの対応を増やしていくことが課題である。
③ 権利擁護事業	権利擁護に関するケースを包括内で検討し、支援方法や知識を深めていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	計画	数値	目標に向けた具体的な取組
①	見守り対象者の実態把握と見守り訪問を計画的に実施し、民生委員や関係機関との連携も強化していく	計画	400人	熱中症の時期は見守り訪問を強化し注意喚起をする。他、見守り対象者には計画を立て訪問。年間で延べ400人の訪問を目指し、地域の実態把握を行っていく。
		報告	407人	区から提供されたグッズを活用し、見守り訪問を強化。ケースの状態に応じて、間隔を短く訪問したり、電話を活用したり、計画的に見守りを実施した。
②	認知症高齢者の早期発見と地域への普及啓発	計画	15ヶ所	シルバーピアや高齢者の多いマンションを回り、認知症理解に関する情報を発信。町会や地域にも働きかけ、認知症カフェや出前講座を行い、地域の普及啓発に力を入れ早期発見につなげる。
		報告	8ヶ所	計画数には至らなかったが、シニアクラブや銀行、地域からの依頼を受け、認知症に関する講座を実施した。また、認知症カフェは毎回楽しみに参加される方も多く定着している。
③	高齢者の権利擁護のため、支援方法や知識を深めていく事例検討や勉強会を行う	計画	4回	権利擁護に関する研修に積極的に参加する。また、3職種を中心に様々な専門的視点から、権利擁護に関する事例検討や勉強会を包括内で行い、質の向上を目指す。
		報告	3回	職員の質の向上を目的として、内部会議等を利用して勉強会を実施。研修にも積極的に参加した。引き続き、支援方法を学び質の向上を目指していく。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○	○	○	○	○	○	12	○	○	1	常	40	○	○	○	○	○	○	13	○	○		
2	常	40	○	○	○	○	○	○	7	○	○	2	常	40	○	○	○	○	○	○	8	○	○		
3	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○	3	常	40	○	○	○	○	○	○	4	○	○		
4	常	40	○	○	○	○	○	○	2	○	○	4	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○		
5	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○	5	常	40	○	○	○	○	○	○	4	○	○		
6	常	40	○	○	○	○	○	○	2	○	○	6	常	40	○	○	○	○	○	○	3	○	○		
7	非	19	○	○	○	○	○	○	7	○	○	7	非	19	○	○	○	○	○	○	8	○	○		
8												8													
9												9													
10												10													

令和 元 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	介護予防や介護の問題が、複雑化する前から相談が入るようにすることが課題である。
② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	新しい住民に対し、地域のつながりを作り、情報を提供していくことが課題である。
③ 介護予防ケアマネジメント業務	地域包括支援センター内でケアプランを検討する機会を作り、自立支援をめざしたケアマネジメントを行っていくことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	元気なうちから地域包括支援センターを身近に感じる人を増やす	計画	11回
		報告	9回
②	包括支援センターの周知と実態把握	計画	マンション20棟
		報告	マンション22棟
③	より多様な視点で自立支援をめざしたケアマネジメントを確立する	計画	8回
		報告	8回

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	都 営							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他
1	常	40	○			○	○			○	6	○	○	1	常	40	○			○	○			○	7	○	○
2	常	40	○		○		○				10	○	○	2	常	40	○		○		○				11	○	○
3	常	40		○	○				○		12	○	○	3	常	40		○	○				○		13	○	○
4	常	35	○				○				12	○	○	4	常	40	○				○				4	○	○
5	常	40	○				○				3	○	○	5	常	育休	○				○				13	○	○
6	非	32	○				○		○		12	○	○	6	常	40					○		○		13	○	○
7	非	40					○		○		6	○	○	7	非	40					○				7	○	○
8	非	40					○		○	○	9	○	○	8	非	8	○								1	○	○

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 8,182 (平成31年1月1日時点) まつがや 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)																
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
地域ケア個別会議	計画 本人参加を念頭に開催準備をすすめる。本人や参加者が話し合ったら良かった、これから役立つと思える会議を行う。	2回			①						②								②
主催	報告 ①身寄りなし独居。今後のペットの世話や入院、死後の手続きについて。②高齢者と引きこもりの子供のこれからについて。本人参加の会議でこれから役立つ情報の整理を行う予定であったが、②は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。	1回												①	②				
見守りネットワーク地区連絡会	計画 見守り関係機関との顔合わせ情報共有、集合住宅や独居の見守りに関して事例紹介や共通する課題について話し合う。	2回		①							②								
主催	報告 見守り関係機関との情報共有やオートロックマンションの見守り方法などを話し合った。2月の連絡会は新型コロナウイルスの感染防止のため中止した。	1回		①											②				
出張相談・出前講座	計画 入谷老人福祉館に出張し利用者に対し介護や健康に関する知っておくと便利な情報提供と必要時相談に応じる。	6回		①	②	③	④	⑤	⑥										
主催	報告 計画の段階から入谷老人福祉センターの方と協議・情報提供を行い、高齢者に役立つ情報や相談が出来る内容を盛り込んだ講座を実施した。3月は新型コロナウイルスの感染対策のため中止した。	5回	①	②	③	④	⑤	⑥											
介護サロン	計画 ケアハウス松が谷3階にて地域住民が集まり介護や生活の悩み等を自由に話せる場を作る。	6回	①	②	③	④	⑤	⑥											
主催	報告 地域住民が集まり、介護や生活の悩みや介護予防等自由に話せる機会を作った。参加者36人、2月は新型コロナウイルスの感染対策のため中止。	5回	①	②	③	④	⑤	⑥											
生活相談会	計画 月1回包括へ出向いてもらう、気軽ななんでも生活相談会を設ける。外出機会、交流機会もかねて見守られ上手を増やす。	11回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪						
主催	報告 月に1回、通常の窓口とは別に窓口を設け相談会を行った。関心を持った独居の方や住宅関係の方が参加された。参加者5人。	9回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪						

＜ケアマネジャー支援＞

エリア内の居宅介護支援事業所数： 11 介護支援専門員数 42名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ケアマネジャーの集い	計画 台東区で活動するケアマネジャーに対して台東区の情報や社会資源等の活用方法の共有を行う。またケアマネジャーや他職種との交流や事例検討等の場とする。	4回		①				②				③			④			
主催・共催	報告 7包括合同で2回(7月医療相談員、1月退院支援看護師とショートステイ相談員)行った。6月まつがや地域包括支援センターで消費者被害の講座を開催した。3月の事例検討会は新型コロナウイルスの感染防止のため中止とした。	3回		①	②							③			④			

＜認知症地域支援推進事業＞

まつがや 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
認知症カフェ(オレンジカフェ)	計画 永寿総合病院、たいとう地域包括支援センター協働で実施する。	6回 240人		①	②	③	④	⑤	⑥									
共催	報告 永寿総合病院、たいとう地域包括支援センターと共同で開催。毎回案内チラシを近隣薬局、マンションへ配布した。3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。	5回 302人		①	②	③	④	⑤	⑥									
認知症サポーター養成講座等の普及啓発活動	計画 ・認知症サポーター養成講座の開催 ・認知症ミニ講座の実施 ・医療、介護、区民等ネットワーク事業にてPRする。	2回						①							②			
主催・共催	報告 6/8いきいきふれあい祭りにて講話。11/12みずほ銀行でサポーター養成講座を行う。3月に講座、講話の依頼があったが中止となった。	2回		①				②										
認知症高齢者早期発見・実態把握	計画 ・認知症個別相談の実施 ・集合住宅の管理人との情報共有 ・医療機関、地域住民と協働で支援する。	4回	①	②	③	④												
主催	報告 集合住宅の管理人、民生委員、家主等より個別相談があった。情報共有しながら医療機関、介護事業所、司法書士等と連携し支援した。	4回	①	②	③	④												
認知症初期集中支援事業	計画 認知症初期集中支援チームの普及啓発・認知症初期集中支援の実施	1ケース以上							①									
実施	報告 区役所と他包括推進員の助言を受けながら独居、アルツハイマー型認知症の初期集中支援を実施した。	1ケース							①									

＜計画外の取組＞

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
機関誌発行	報告 5月『熱中症注意喚起、包括支援センターの役割』2月『防火診断について』をテーマに窓口配布や見守り協力機関、地域住民に配布した。	2回		①														②
	報告																	

令和 元 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 聖風会 】

◇今年度の重点課題

① 包括的・継続的 ケアマネジメント支援業務	ケアマネジメントに資する地域の社会資源の把握・活用できる体制・ネットワークづくりを行っていくことが課題である。
② 認知症総合支援事業	認知症の方やそのご家族、認知症（予防）に関心のある地域住民の方々が気軽に立ち寄り交流できる機会を作っていくことが課題である。
③ 一般介護予防事業 に関する業務	介護予防の意識を高める活動の場を増やすことが課題である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数 値	目標に向けた具体的な取組
①	地域の多様な社会資源の把握と整理を行う	計 画	－
		報 告	－
②	カフェたいとんの定期開催	計 画	6回／年
		報 告	6回／年
③	介護予防の意識へ働きかける活動の場を立ち上げる	計 画	1か所
		報 告	－

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	30年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40		○		○				12	○	○	1	常	40			○		○				13	○	○
2	常	40	○			○				10	○	○	2	常	40	○				○				11	○	○
3	常	40	○			○		○	○	7	○	○	3	常	40	○			○		○	○		8	○	○
4	常	40	○				○	○	○	4	○	○	4	常	40	○				○	○	○		5	○	○
5	常	40		○						11	○	○	5	常	40			○						12	○	○
6	常	40	○				○	○	○	2	○	○	6	常	40	○				○	○	○		3	○	○
7	非						○			6		○	7	非						○				7		○
8													8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

令和 元 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

① 介護予防 ケアマネジメント業務	総合事業の通所Cの利用人数を増やすことが課題である。
② 一般介護予防事業 に関する業務	「通いの場」づくりに力を入れていくことが課題である。
③	

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	通所Cの利用者を増やす	計画 20人	安易に通所型サービスを進めず、通所Cの利用を促す。
		報告 19人	目標にはわずかに足らなかったが、近くの転倒予防教室を中心に、通所Cのサービスにつなげられた。
②	自主グループの立ち上げ	計画 1 場所	ほうらいで行っているセラバンド体操を自主グループに移行する。
		報告 -	セラバンド体操を自主グループ化に向けて継続中。自主的に取り組めるように働きかけた結果、参加者同士で会場設営やお茶出しを行うようになった。
③		計画	
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

30年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	元年度 No.	常勤(常) ・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40			○					6	○	○	1	常	40	○			○					7	○	○
2	常	40	○				○	○		5	○	○	2	常	40	○			○		○	○		6	○	○
3	常	40			○					5	○	○	3	常	40			○					6	○	○	
4	常	40			○					1	○	○	4	常	40	○					○		1	○	○	
5	常	40	○				○		○	0	○	○	5	常	40		○	○		○			1	○	○	
6	常	40	○						○	0	○	○	6													
7													7													
8													8													
9													9													
10													10													

◇年間計画表

エリア内の高齢者人口： 6,178人 (平成31年1月1日時点) ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	計画	地域住民に積極的に参加していただけるよう開催準備を進める。会議を通して社会資源の開発につなげていく。	2回	←①→						←②→					
	報告	精神疾患の長男と高齢者夫婦が同居する事例と、生活保護の方の金銭管理の事例について話し合うことができた。生活保護の方の成年後見制度活用につなげられた。	2回	←①→						←②→					
見守りネットワーク地区連絡会	計画	年2回開催する。 6月：顔合わせ、情報提供 11月：事例を通して関係機関と情報共有する	2回 50人	←①準備・開催→						←②準備・開催→					
	報告	6月には顔合わせと民生委員と包括で連携・支援している事例についてグループワークした。11月は各地域毎のグループを作り、各自が知っている地域資源について共有した。	2回 111人	←①準備・開催→						←②報告→					
出張相談出前講座	計画	橋場老人福祉館と共催で笑顔の集いの開催。高齢者の役に立つ啓発事業を行う。	6回	←①→ ←②→ ←③→ ←④→ ←⑤→ ←⑥→											
	報告	毎月生活の為に講義を行い、終了後はゲームやレクで盛り上がり笑顔があふれていた。出張は各15名ほどの参加があった。2,3月はコロナウィルスの影響で開催できず。	(橋場)10回 232人 (出張)5回 63人	←①→ ←②→ ←③→ ←④→ ←⑤→ ←⑥→											
セラバンド教室	計画	地域の高齢者を対象にセラバンドを用いて転倒予防、認知症予防体操を行う。	12回 120人	←①→ ←②→ ←③→ ←④→ ←⑤→ ←⑥→ ←⑦→ ←⑧→ ←⑨→ ←⑩→ ←⑪→ ←⑫→											
	報告	3月はコロナウィルスの影響で開催できず。参加者同士で、終了後お茶を飲んでお話をしたりする方もいた。引き続き自主グループで活動できるように後方支援を継続的に行っていく。	1回 166人	←①→ ←②→ ←③→ ←④→ ←⑤→ ←⑥→ ←⑦→ ←⑧→ ←⑨→ ←⑩→ ←⑪→ ←⑫→											

＜ケアマネジャー支援＞

エリア内の居宅介護支援事業所数： 3 介護支援専門員数 6名 (平成31年1月1日現在)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	計画	事例検討会や地域のケアマネが興味のある題材を提供し、ケアマネ同士の交流を深める(年2回は7包括合同)	4回	←①→						←②→					
	報告	弁護士や消防署に依頼し、講習会を企画した。年2回の7包括合同の研修及び講習会も実施した	4回	←①→						←②→					
地域連携を進める会	計画	山谷地域で活動しているNPO法人団体と一緒に勉強会を開催する	3回	←①→				←②→				←③→			
	報告	コロナウィルスの影響で、勉強会の回数が例年より少なく、シンポジウムもできなかった	2回	←①→				←②→				←③→			

＜認知症地域支援推進事業＞

ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ(あきがおカフェ)	計画	年6回の定期開催を行い、参加者同士が交流できるように働きかける。また、認知症の本人やその家族の方に利用して頂けるよう、地域のケアマネジャー等への広報を行う。	6回	←①→		←②→		←③→		←④→		←⑤→		←⑥→	
	共催	3月は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。地域のケアマネに広報を行い、ケアマネ4名が見学され、利用者の紹介を受けた。グループワークを取り入れ参加者同士の交流を促した。各回1~2名程度の個別相談を受けた。	5回	←①→		←②→		←③→		←④→		←⑤→			
認知症サポーター養成講座等の普及啓発活動	計画	地域のキャラバンメイトに働きかけ、共同で講座を開催する。地域の関係者に向けた講座だけでなく、小中学生向けの講座も継続的に開催していく。	4回	不定期開催											
	報告	今年度新たに簡易宿泊所の管理人に向けた講座を開催した。それにより管理人からの認知症相談件数が増え、啓発の効果が得られた。その他に児童館の小中学生向けの講座、銀行や中学校、町会での講座を実施した。	5回	←①→				←②→				←③→			
認知症初期集中支援推進事業	計画	年間1ケースの介入を行うため認知症の困難ケースについて、認知症地域支援推進員を中心に、情報提供を行う。地域のケアマネの認知度を高めるために、ケアマネの集いの場を活用して広報活動を行う。	1ケース以上	←①→											
	実施	初期集中支援チームによる介入が適当と判断された事例はなかったが、他包括の事例に対して、チームのサブメンバーとして訪問を行った。ケアマネの集いで広報を行った。	1件	←①→											
	計画														
	報告														

＜計画外の取組＞

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													